

10月18日（日）

セッション1（会員のみ参加可能）

気候・水文・自然と人間

〔コンピナー〕 谷口智雅（三重大）・財城真寿美（成蹊大）・小口 高（東京大）

開始時刻 13:00

〔趣旨説明〕 13:00～13:05 谷口智雅（三重大）	〔座長〕小口 高（東京大）
〔座長〕財城真寿美（成蹊大）	109 15:15～15:30 宋 苑瑞（東京理科大・非常勤）：カリフォルニアの森林火災の現状とその背景について
101 13:05～13:20 永田玲奈（日本大・非常勤）ほか：北太平洋高気圧の変動が日本の夏の天候に与える影響	110 15:30～15:45 船引彩子（東京理科大）ほか：北海道南部、静狩湿原の地形とその歴史について
102 13:20～13:35 赤坂郁美（専修大）ほか：19世紀後半以降のフィリピンにおける降水の季節進行	111 15:45～16:00 廣瀬俊介*（東京大）・唐澤圭輔（唐澤農園）：都市に残る自然的環境の公共的利益評価—千葉県松戸市の矢切耕地を例として
103 13:35～13:50 久保田尚之（北海道大）ほか：江戸末期に日本近海で外国船に観測された台風	112 16:00～16:15 河本大地（奈良教育大）：ジオパークのコンセプトはどう図示されてきたか？
104 13:50～14:05 田上善夫（富山大・名誉）：日本周辺の歴史時代の気候変動とその影響	〔休憩〕 16:15～16:20
〔休憩〕 14:05～14:10	〔座長〕財城真寿美（成蹊大）
〔座長〕谷口智雅（三重大）	113 16:20～16:35 山地萌果*（宇宙航空研究開発機構）・松本 淳（都立大）：宇宙からの降水観測最前線
105 14:10～14:25 澤柿教伸*（法政大）・箕輪昌紘（名古屋大）：パタゴニア・ヴィエドマ氷河における水食基盤岩地形と炭酸塩堆積物	114 16:35～16:50 日下博幸（筑波大）ほか：フェーン昇温の主要なタイプは、本当に熱力学理論タイプなのか？
106 14:25～14:40 伊藤有加（東京大）ほか：九十九里平野南部、茂原市における数値モデルに基づく水害要因の検討	115 16:50～17:05 一ノ瀬俊明（国立環境研）：まちづくりにできる都市温暖化対策—気候変動適応策として
107 14:40～14:55 横山俊一（防災科学技術研）：酸性河川を例とした水質災害のコミュニケーションメソッドの試案	〔コメント〕 17:05～17:25 飯島慈裕（三重大） 飯泉佳子（日本大）
108 14:55～15:10 小寺浩二（法政大）ほか：本邦における水環境の変遷に関する地理学的研究—全国規模の水環境情報の長期変動を中心に	〔総合討論〕 17:25～18:00 〔司会〕谷口智雅（三重大）
〔休憩〕 15:10～15:15	

終了時刻 18:00

10月24日（土）

セッション2（会員のみ参加可能）

島の可能性を問う

〔コンビーナ〕 須山 聡（駒澤大）・松井圭介（筑波大）

開始時刻 13:00

〔趣旨説明〕 13:00～13:05  
須山 聡（駒澤大）

〔座長〕 松井圭介（筑波大）

201 13:05～13:20

前畑明美（法政大・兼任）：「島嶼性」による島々の社会的ネットワークとその可能性—日本の島々の医療体制の現状から

202 13:20～13:35

須山 聡（駒澤大）：鹿児島県宇検村における集落点検の実践と集落の空間問題

203 13:35～13:50

橋本 操（岐阜大）：奄美大島におけるハブと人びとの共存方法—撲滅から棲み分けへ

204 13:50～14:05

麻生 将（同志社大・研）：写真資料から見た近代奄美大島のカトリック—名瀬町を事例に

205 14:05～14:20

花木宏直（琉球大）：19世紀から20世紀前半の瀬戸内海・大三島におけるマニラ移民の送出国とその地域的背景

〔休憩〕 14:20～14:30

〔座長〕 須山 聡（駒澤大）

206 14:30～14:45

松井圭介\*（筑波大）・川添 航（筑波大・学振DC）：世界遺産は島の歴史をいかに語るのか？

207 14:45～15:00

宮内久光（琉球大）：沖縄県座間味島におけるマリンレジャー事業所の経営形態と事業状況

208 15:00～15:15

卯田卓矢（名桜大）：離島における星空ツーリズムの発展と「すみ分け」—沖縄県八重山諸島を事例として

209 15:15～15:30

深見 聡（長崎大）：鹿児島県与論島における新型コロナウイルス感染拡大から考える島嶼観光の展望

〔休憩〕 15:30～15:40

〔総合討論〕 15:40～16:30

〔司会〕 松井圭介（筑波大）

〔コメント〕：高橋昂輝（香川大）、  
前田 剛（対馬市役所）

終了時刻 16:30

10月31日（土）

シンポジウムS1（公開）

自然保護における地理学の役割

日本地理学会自然保護問題研究グループ  
〔オーガナイザー〕目代邦康(東北学院大)・浅野敏  
久(広島大)・中井達郎

開始時刻 13:00

S101 〔趣旨説明〕13:00～13:30

目代邦康（東北学院大）：自然保護にお  
ける地理学の役割—シンポジウム趣旨説明

〔座長〕中井達郎

S102 13:30～14:00

伊藤達也（法政大）：ダムと環境保全の対  
立

S103 14:00～14:30

若松伸彦（日本自然保護協会）：南アルプ  
スにおけるリニア中央新幹線工事の現状

S104 14:30～15:00

浅野敏久（広島大）：市民による環境運動  
は転機を迎えているのか？

〔総合討論〕15:00～17:00

〔座長〕目代邦康・浅野敏久・中井達郎

終了時刻 17:00

11月1日（日）

---

セッション3（会員のみ参加可能）

---

COVID-19と地理学

〔コンビーナ〕中谷友樹（東北大）・若林芳樹（都立大）・宮澤 仁（お茶の水女子大）

開始時刻 9:00

301 9:00～9:15 駒木伸比古*（愛知大）・島山輝雄（鳴門教育大）：COVID-19感染者の分布状況に関する空間分析の試み	307 10:40～10:55 桐村 喬（皇學館大）：TwitterデータからみたCOVID-19の拡大に対する「行動変容」
302 9:15～9:30 荒堀智彦（都立大）：ポスト・コロナ社会における感染症の健康危機管理情報とリスクコミュニケーション	308 10:55～11:10 永田彰平（東北大）ほか：モバイルデバイスデータを用いたCOVID-19流行とモビリティ変化の関連の分析
303 9:30～9:45 島山輝雄*（鳴門教育大）・駒木伸比古（愛知大）：緊急事態宣言に伴う移動制限に対する地域概念からの考察	[休憩] 11:10～11:20
304 9:45～10:00 中村 努（流通経済大）：コロナ禍における地域包括ケアシステムの空間的変容	309 11:20～11:35 坪本裕之（都立大）：コロナ禍の東京におけるオフィスの現状と今後の展望
[休憩] 10:00～10:10	310 11:35～11:50 小田宏信（成蹊大）：ニューノーマル時代に向けたサテライトオフィス型事業所立地の意義
305 10:10～10:25 埴淵知哉（東北大）：「距離をとる」時代の社会／地域調査	311 11:50～12:05 倉光ミナ子*（お茶の水女子大）・福田珠己（大阪府立大）：Covid-19と「ホーム」—フェミニスト地理学の視点から
306 10:25～10:40 矢部直人（都立大）ほか：緊急事態宣言前後の外出行動とインターネット利用の関係	312 12:05～12:20 山崎孝史（大阪市立大）：日本におけるCOVID-19パンデミックと生／地政治
	[討論] 12:20～12:30

終了時刻 12:30

---

11月1日 (日)

セッション4 (会員のみ参加可能)

地形・災害・社会

[コンピナー] 鈴木康弘 (名古屋大)・田中 靖 (駒沢大)・八反地 剛 (筑波大)・渡辺満久 (東洋大)

開始時刻 13:00

[趣旨説明] 13:00~13:05

鈴木康弘 (名古屋大)

[座長] 八反地 剛 (筑波大)

401 13:05~13:20

植木岳雪 (千葉科学大): 高知県, 加奈木のつえの初生年代の再検討—江戸期から後期更新世へ

402 13:20~13:35

黒木貴一 (関西大) ほか: 桜島東麓の火山山麓の地形面区分

403 13:35~13:50

西村智博 (国際航業) ほか: 関東平野周辺の3次元古地形データを利用した防災学習コンテンツの検討

404 13:50~14:05

中田 高 (広島大) ほか: ALOS 30 DSMアナグリフ画像を用いたトルコの活断層マッピング

405 14:05~14:20

後藤秀昭 (広島大): 南西諸島中部の島棚に分布する海底段丘からみた地殻変動

[休憩] 14:20~14:30

[座長] 田中 靖 (駒沢大)

406 14:30~14:45

奥山加蘭 (信州大・院): 昭和19年東南海地震における諏訪地域の被害状況に関わる考察

407 14:45~15:00

岩佐佳哉 (広島大・学振DC): 過去の広域豪雨に伴う土石流の分布とその特徴—広島県南部における1945年9月枕崎台風を事例に

408 15:00~15:15

松多信尚 (岡山大) ほか: 災害時における住民の避難トリガーについて—平成30年西日本豪雨時の倉敷市真備を例に

409 15:15~15:30

高木 亨 (熊本学園大): 熊本県における特別養護老人ホームの立地と災害について

410 15:30~15:45

佐野浩彬 (防災科学技術研) ほか: 令和2年7月豪雨における災害対応での情報共有・利活用—地図情報の活用とその課題について

411 15:45~16:00

岩船昌起 (鹿児島大): 令和2年7月豪雨における熊本県球磨村での避難行動—局地的大雨での緊急避難時の逃げ道に注目して

[休憩] 16:00~16:10

[座長] 鈴木康弘 (名古屋大)

412 16:10~16:25

山野博哉 (国立環境研): 自然生態系分野における気候変動適応

413 16:25~16:40

茅根 創 (東京大): 地球温暖化時代の海洋教育

414 16:40~16:55

山口 勝 (日本放送協会): 感染症, 災害, 情報の増大—新学習指導要領地理に示した社会課題に対応する環境学的アプローチとメディアリテラシ

415 16:55~17:10

熊原康博 (広島大) ほか: Google Earth Projectを活用した高大連携の地形学習の教材開発—「空から見る日本の地形」プロジェクトの紹介

416 17:10~17:25

久保純子\* (早稲田大)・鈴木康弘 (名古屋大): 「流域治水」をめぐる動向と課題

終了時刻 17:25

11月3日 (火)

11月6日 (金)

シンポジウムS2 (公開)	シンポジウムS3 (公開)
<p>総合的学問領域としての地理学の 成果と展望</p> <p>[オーガナイザー] 横山 智 (名古屋大)・松本 淳 (都立大)</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00~13:05 横山 智 (名古屋大)</p> <p>[座長] 浅田晴久 (奈良女大)</p> <p>S201 13:05~13:30 横山 智 (名古屋大): ネイチャー・アンド・ソサエ ティ研究で地理学の総合性を示すことができる のか?</p> <p>S202 13:30~13:55 水野一晴 (京都大): 地理学の総合性の具体的 な実践事例 (自然地理研究会の活動)</p> <p>S203 13:55~14:20 中窪啓介 (東京農業大): フィリピン・マンゴウの 産地研究から地理学の総合性を考える</p> <p>[休憩] 14:20~14:25</p> <p>[座長] 横山 智 (名古屋大)</p> <p>S204 14:25~14:50 手代木功基 (摂南大): トチノキ巨木林の成立に みる環境-人間関係-滋賀県朽木地域を事例 に</p> <p>S205 14:50~15:15 佐藤廉也 (大阪大): 文化地理学は学問の総合 性を取り戻せるか?</p> <p>S206 15:15~15:40 松本 淳 (都立大): 地理学と風土</p> <p>[休憩] 15:40~15:45</p> <p>[座長] 池口明子 (横浜国立大)</p> <p>[コメント] 15:45~16:20 小岩直人 (弘前大) 池谷和信 (民族学博)</p> <p>[総合討論] 16:20~17:00</p> <p>終了時刻 17:00</p>	<p>グローバル・ノースの「夜」と音楽 一夜の時間-空間を多角的に捉える-</p> <p>[オーガナイザー] 池田真利子 (筑波大)・坂本優紀 (西武文理大)・杉本興運 (東洋大)・田中順也 (ナビタ イムジャパン)・Morgner, Christian (Univ. of Leicester)</p> <p>開始時刻 14:00</p> <p>[趣旨説明] 14:00~14:05 池田真利子 (筑波大)</p> <p>[座長] Temesgen Assefa (JTB総合研)</p> <p>S301 14:05~14:15 池田真利子 (筑波大)ほか: グローバル・ノース の「夜」と音楽-都市と自然の二項対立を超え て</p> <p>S302 14:20~14:40 池田真利子 (筑波大)ほか: グローバル・ノース の音楽-「物質的制約」を超える電子音楽の現 状と可能性</p> <p>S303 14:40~15:00 坂本優紀* (西武文理大)・池田真利子 (筑波 大): ウィンターリゾートにおけるインバウンド観光 客と夜間経済の現状-長野県白馬村の音楽空 間に注目して</p> <p>[キーノート] 15:00~15:20 杉本興運 (東洋大): インバウンド振興とエンター テイメントに関する時空間的考察-夜間の音楽 系イベントに着目して</p> <p>[ラウンドテーブル] 15:20~15:40 コメント1: 田中順也 (ナビタイムジャパン) コメント2: Temesgen Assefa (JTB総合研) コメント3: 八木京子 (東洋大) ディスカッション・質疑応答</p> <p>[休憩] 15:40~16:00</p> <p>[座長] Mariko Ikeda (Univ. of Tsukuba)</p> <p>[Introduction] 16:00~16:05 Morgner, C. (Leicester Univ.): Night and music on global cities</p> <p>[Keynote Lecture] 16:05~16:40</p> <p>S304 Lange, B. (Leipzig Univ.): Music and spaces in global city Berlin: Towards future-oriented geographies</p> <p>[Roundtable] 16:40~17:00 Comments 1: Ilse van Liempt (Utrecht Univ.) Comments 2: Christian Morgner (Leicester Univ.) Discussion and Q&amp;A</p> <p>終了時刻 17:00</p>

11月7日 (土)

11月8日 (日)

シンポジウムS4 (公開)	シンポジウムS5 (公開)
<p>都市気候と局地風系 —ローカル気候学研究の現状と課題—</p> <p>[オーガナイザー] 高橋日出男 (都立大)・中川清隆 (立正大)・日下博幸 (筑波大)・渡来 靖 (立正大)</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00~13:05 高橋日出男 (都立大)</p> <p>[座長] 渡来 靖 (立正大)</p> <p>S401 13:05~13:25 浅野裕樹 (筑波大・院)ほか:つくば市で発生した放射霧に対するヒートアイランド現象の効果</p> <p>S402 13:25~13:45 鈴木信康*(立正大・院)・渡来 靖(立正大): DSJRA-55データによる東海~関東南岸域に発生する収束線の出現特性</p> <p>S403 13:45~14:05 瀬戸芳一* (都立大)・高橋日出男 (都立大): 関東平野における近年の風系変化把握に向けた大気常時監視局の地点情報整備と風速補正</p> <p>[休憩] 14:05~14:15 [座長] 日下博幸 (筑波大)</p> <p>S404 14:15~14:35 中川清隆*・渡来 靖 (立正大): 冷熱源として放射冷却項と水平熱拡散項を有する Summers型夜間都市境界層熱収支モデルの提案</p> <p>S405 14:35~14:55 西 睦史(防衛大)ほか:新潟の夜間極端高温に対するフェーンと都市ヒートアイランドの寄与の定量評価</p> <p>S406 14:55~15:15 高橋日出男 (都立大)ほか:東京の都心から西郊における冬季夜間の境界層温度構造</p> <p>[休憩] 15:15~15:25 [座長] 中川清隆 (立正大)</p> <p>S407 15:25~15:45 大和広明 (埼玉県環境科学国際センター)ほか:首都圏における夏季日中の海風循環と気温分布について</p> <p>S408 15:45~16:05 Quang-Vân Đoàn (Univ. of Tsukuba) et al.: Impact of urbanization on convective rainfall in Singapore</p> <p>S409 16:05~16:25 日下博幸 (筑波大)ほか:アジアのメガシティの都市気候</p> <p>[総合討論] 16:25~17:00 終了時刻 17:00</p>	<p>帝国林業, 森林, 林学—帝国の自然をめぐる科学的まなざし—</p> <p>[オーガナイザー] 中島弘二(金沢大)</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00~13:10 中島弘二 (金沢大)</p> <p>[座長] 中島弘二 (金沢大)</p> <p>S501 13:10~13:30 竹本太郎 (東京農工大): 日本帝国における森林管理の量的把握</p> <p>S502 13:30~13:50 中山大将 (釧路公立大): 日本領樺太における林業技術の開発と普及—学知と移民社会</p> <p>S503 13:50~14:10 永井リサ(帝京大): 「満州国」林業遺産の継承と断絶—「満洲国」興農部林野総局林野試験室実験林跡地の状況について</p> <p>S504 14:10~14:30 中島弘二 (金沢大): 台湾総督府林業試験所と帝国林業</p> <p>[質疑] 14:30~14:50</p> <p>S505 14:50~15:10 米家泰作 (京都大): 植民地台湾における草創期の林学と田代安定</p> <p>S506 15:10~15:30 三島美佐子 (九州大): 金平亮三と西欧科学者</p> <p>S507 15:30~15:50 水野祥子 (駒澤大): イギリス帝国林学と焼畑</p> <p>[質疑] 15:50~16:10</p> <p>[コメント] 16:10~16:20 島津俊之 (和歌山大)</p> <p>[総合討論] 16:20~17:00 終了時刻 17:00</p>

11月21日 (土)

11月21日 (土)

シンポジウムS6 (公開)	シンポジウムS7 (公開)
<p>世界地誌学習の新たな方向性 —東南アジア・オセアニア—</p> <p>[オーガナイザー] 田部俊充 (日本女子大)</p> <p>開始時刻 9:00</p>	<p>新科目「地理総合」をいかに実践するか —地図・GISを活用して—</p> <p>[オーガナイザー] 井田仁康 (筑波大)・秋本弘章 (獨協大)・土田雅代 (ESRIジャパン)</p> <p>開始時刻 13:00</p>
<p>S601 [趣旨説明] 9:00~9:20 田部俊充 (日本女子大) : 世界地誌学習の新たな方向性—東南アジア・オセアニア</p> <p>[座長] 田部俊充 (日本女子大)</p>	<p>[座長] 井田仁康 (筑波大)</p>
<p>S602 9:20~9:50 菊地俊夫 (都立大) : 世界地誌学習の可能性としての東南アジア・オセアニア</p>	<p>S701 13:00~13:10 井田仁康(筑波大)ほか:新科目「地理総合」をいかに実践するか—地図・GISを活用して</p>
<p>S603 9:50~10:20 井田仁康 (筑波大) : 高校地理探究と東南アジア・オセアニア地誌学習</p>	<p>S702 13:10~13:30 秋本弘章 (獨協大) : 「地図・GIS」を活用する『地理総合』の実践</p>
<p>S604 10:20~10:50 永田成文 (三重大) : 生活文化の多様性からみた東南アジア・オセアニアの地理授業</p>	<p>S703 13:30~14:30 加藤一郎 (埼玉県立坂戸西高) : 新型コロナ感染拡大をどう教材化するか</p>
<p>[休憩] 10:50~11:00</p>	<p>[休憩] 14:30~14:40</p>
<p>S605 [コメント]11:00~11:10 阪上弘彬 (兵庫教育大) : 地誌学習では何が問われているのか</p>	<p>S704 14:40~16:10 土田雅代(ESRIジャパン):地図・GIS学習システムの開発—GISカードの特徴</p>
<p>[質疑] 11:10~11:30</p>	<p>S705 16:10~16:30 卜部勝彦 (日本大) : 高校「地理総合」における地図・GIS指導の課題</p>
<p>S606 [総括]11:30~11:40 鈴木 允(横浜国立大):東南アジア・オセアニア地誌学習の現代的意義</p>	<p>[総合討論]16:30~17:00</p>
<p>[まとめ・次回予告・閉会] 11:40~ 田部俊充 (日本女子大)</p> <p>終了時刻 12:00</p>	<p>終了時刻 17:00</p>

# 11月4日（水）～17日（火）

## ポスター発表

ポスターは、11月4日(水)～17日(火)の期間に展示します。11月14日(土)の10時～12時、11月15日(日)の12時～14時をポスター発表のコアタイムといたします。コアタイムの時間前後に、ポスターの右側に質問が記入されますので、発表者はこの時間帯に質問に答えて下さい。

- |  |  |
|--|--|
| P101 本合弘樹(太平洋コンサルタント)ほか:平成30年北海道胆振東部地震での札幌市豊平区・清田区における液状化一流出・噴出した盛土の粒度分析と顕微鏡観察による発生要因の検討 | P115 千葉 晃(練馬区立石神井西中学校):温度計を見ずに現在の気温を推定する経験学的目安—被験者の毎日の生活による                        |
| P102 長田強志(都立大・院)ほか:地形解析による土壘斜面の侵食に関わる環境要因の考察   | P116 大津佑介*(筑波大・院)・日下博幸(筑波大):タイ・バンコクの都市化が降水に与える影響                                   |
| P103 東 善広*・水野敏明(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター):河床地形と河床材粒径の関係に関する研究                                    | P117 澤田康徳(東京学芸大)ほか:暖候期夜間の熊谷市における都市と郊外との相対湿度差に関する季節推移と年々変化                          |
| P104 森脇 広(鹿児島大・名誉)ほか:南西諸島、喜界島の砂丘形成   | P118 瀧本家康*(宇都宮大)・重田祥範(鳥取環境大):宇都宮市における夏季暑熱環境の特徴と都市化率の関係                             |
| P105 鹿島 薫(九州大)ほか:韓半島東海岸ボンポ湿原における過去7700年間の古環境変動   | P119 池田貴史*(筑波大・院)・日下博幸(筑波大):暑熱順化を考慮した日々の熱中症搬送者数予測                                  |
| P106 林崎 涼(電力中央研)ほか:北海道南部静狩湿原より採取した堆積物中の火山灰と基底砂層の年代に関して                                   | P120 佐藤亮吾(筑波大・院)ほか:将来気候下における日本全国市区町村別の熱中症リスクマップの作成                                 |
| P107 佐々木夏来*(学振PD・筑波大)・須貝俊彦(東京大):仙岩火山地域における山岳湿地の成立年代と立地環境                                 | P121 中村真悟(筑波大・院)ほか:温暖化に伴う熱中症搬送者数の増加が地域救急医療体制へ与える負荷                                 |
| P108 山田周二(大阪教育大):30m DEMを用いた山頂周辺の起伏と平均傾斜に基づく日本の山の陰しさの評価                                  | P122 重田祥範(鳥取環境大)ほか:宇都宮市で発生するヒートアイランドと土地被覆形態の関係                                     |
| P109 吉岡美紀*(日本地理学会会員)・澤柿教伸(法政大):GNSSと航空レーザー測量データを用いた多摩川中流河川敷の標高変化計測—2016年と2019年の比較        | P123 長谷川直子(お茶の水女子大)ほか:諏訪湖の結氷・御神渡り記録の典拠ごとの精査  |
| P110 佐藤 浩(日本大):SAR干渉画像によるヘタウダ周辺の地殻変動の判読  | P124 三上岳彦(都立大・名誉)ほか:弘前の冬春季・降雪率の長期変動と十三湖の結氷期間との関係                                   |
| P111 研川英征(国土地理院)ほか:令和元年東日本台風における被災状況と治水地形分類図等との比較  | P125 平野淳平*(帝京大)・三上岳彦(都立大・名誉):日記天候記録から復元した19世紀冬季の天候分布と20世紀再解析データとの比較                |
| P112 水本匡紀(東北学院大・非常勤):郷土史から紐解く、防災を特別視しない豊かな災害文化—宮城県河南町(現、石巻市)の事例                          | P126 財城真寿美*(成蹊大)・三上岳彦(都立大・名誉):観測地点の移動と天候が気温日変化に及ぼす影響                               |
| P113 佐藤 剛(帝京平成大)ほか:テキストマイニングを用いた専門家による地すべり地形判読プロセスの評価                                    | P127 永井 遥*(早稲田大・院)・久保純子(早稲田大):英国の事例をふまえた日本の都市河川におけるNatural Flood Managementの有効性の検討 |
| P114 堀内雅生(法政大・院)ほか:新潟県津南町における風穴観測  | P128 黒田春菜(法政大・学)ほか:猪苗代湖集水域の水循環に伴う物質収支に関する研究—中性化問題に焦点をあてて                           |
|  | P129 大八木英夫(南山大)ほか:田沢湖における水収支と水質改善に関する検討  |

## 11月4日(水)～17日(火)

### ポスター発表

ポスターは、11月4日(水)～17日(火)の期間に展示します。11月14日(土)の10時～12時、11月15日(日)の12時～14時をポスター発表のコアタイムといたします。コアタイムの時間帯前後に、ポスターの右側に質問が記入されますので、発表者はこの時間帯に質問に答えて下さい。

- P130 小田理人\*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):  
多摩川水系浅川の水質に関する水文地理学的研究
- P131 乙幡正喜(法政大・院)ほか:狭山丘陵の水環境に関する水文地理学的研究—河川源流域の汚染源を中心に
- P132 山形えり奈(法政大・学)ほか:阿武隈川流域の水環境に関する研究(2)
- P133 齋藤圭(京大)ほか:ネパール・カトマンズ盆地流域の水環境に関する研究(2)
- P134 猪狩彬寛(法政大・院)ほか:河川水の電気伝導率に関する水文地理学的研究
- P135 蓑島誠(法政大・学)ほか:北海道・常呂川流域における河川特性と人為の水質への影響
- P136 山口哲由\*(京大)・LUU Minh Tuan(アンジャン省植物防疫部):ベトナム・メコンデルタにおける節水型稲作灌漑技術の普及状況に関する空間自己相関分析
- P137 柿崎健士(都立大・院)ほか:菅平高原アカマツ林下の若木分布からみた植生更新
- P138 穂積謙吾(早稲田大・院):中間流通業者との取引関係から見た養殖業者の経営戦略—愛媛県宇和島市宇和島地区を事例として
- P139 福田峻(京大):企業データベースを利用した企業支所立地の動向把握(2009-2019年)
- P140 荒木一視(立命館大):災害時の救援活動拠点の配置に関する一考察—和歌山県日高郡の役場、学校、寺院
- P141 玉小(筑波大・院):中国における社会医療保険制度の地域格差と受診行動の特性に関する研究—内モンゴル自治区を事例として
- P142 原将也(神戸大):ザンビア北西部における多民族地域の形成過程—他民族の移入に着目して
- P143 轟博志(立命館アジア太平洋大):統一新羅における幹線駅路と行政区画の関係
- P144 川添航(筑波大・学振DC):「国際移住と宗教」をめぐる地理学的研究の新たな方向性とその特徴—2000年以降の英語圏における議論の動向を踏まえて
- P145 細井将右(地図情報研):明治前期ジュールダンらの新潟港図と永井獨楽造
- P146 松尾卓磨(大阪市立大・学振DC):ロンドンのジェントリフィケーション地域に立地する小規模店舗群の現状と変化に関する考察
- P147 櫛引素夫(青森大):新幹線駅エリアの「メディア化」が持つ地理学的な可能性と課題(続報)—コロナ禍の影響と克服の試み
- P148 五艘みどり(帝京大):ルーラルツーリズムを通して農村女性が創出する地域コミュニティ
- P149 佐々木智章(早稲田大学高等学院):プエノスアイレス近郊の日系農家による花卉栽培の展開
- P150 山本裕稀\*(東京大・院)・貞広幸雄(東京大):投票行動の決定要因—平成28年東京都知事選挙を事例に
- P151 WANG, R. (PD, Univ. of Tsukuba): Urban scenario analysis using remote sensing and GIS for sustainable development: A review
- P152 勝又悠太郎\*(広島大)・月森義基(広島大・学):インドにおける新型コロナウイルス(COVID-19)感染の空間的特徴
- P153 根元裕樹(都立大)\*・夏目宗幸(京大・院):Leafletを用いたWebGIS作成教材の拡充と図形スタイル作成ツールの開発
- P154 坪井塑太郎(人と防災未来センター):台風災害による被害・避難状況と被災者支援に関する研究—令和元年台風第19号における栃木県宇都宮市を事例として
- P155 町田知未(日本大・院):北海道中川町における地域資源を活用した地域づくりの意義と課題
- P156 Soliman, M. (Ritsumeikan Univ.) et al.: Sustainable geodesign for the urban cultural heritage of Alexandria, Egypt: Homogeneity of authenticity & modernization

## 11月4日（水）～17日（火）

### ポスター発表

ポスターは、11月4日(水)～17日(火)の期間に展示します。11月14日(土)の10時～12時、11月15日(日)の12時～14時をポスター発表のコアタイムといたします。コアタイムの時間帯前後に、ポスターの右側に質問が記入されますので、発表者はこの時間帯に質問に答えて下さい。

- |  |   |
|--|---|
| P157 小坪将輝(東北大・院)ほか:都市圏内居住地移動の動機—移動距離と個人の属性による違いに着目して                     | P171 市川 聖(島根県立大):高校社会科における教科横断的な授業の試み—地理と倫理による「地域調査」の方法を中心に |
| P158 李 政宏(法政大・院):台湾系留学生の移動傾向と生活様式に関する考察—台湾の大学教員を事例として                    | P172 田部俊充(日本女子大)・郭 明*(日本女子大・非常勤):現地調査アプリを用いた課題解決型地域調査の事例    |
| P159 鈴木修斗(筑波大・院):首都圏郊外の海浜観光地における現役世代のライフスタイル移住—鎌倉市における「鎌倉移住」の展開          | P173 山本隆太(静岡大)ほか:地理教育におけるVRの活用の可能性と課題—オンラインでのフィールド観察        |
| P160 有馬貴之(横浜市立大):オリンピックと観光に関わる日本の研究—観光空間の変化を捉える視点の導出を目指して                |   |
| P161 原 雄一(京都先端科学大):大阪24区・街の記憶の痕跡—街歩きから地域再発見の旅へご招待                        |   |
| P162 杜 国慶(立教大):ユーザ生成コンテンツにみる言語別観光スポットの分布と異同—TripAdvisorのヴェローナ投稿を事例として    |   |
| P163 于 濰赫*(筑波大・研)・池田真利子(筑波大):「ユニークベニュー」としての文化財活用の現状とその課題—台湾のライブ音楽空間に注目して |   |
| P164 三原昌巳(昭和女子大):福島県二本松市岳温泉地区における集客対象の拡大とコミュニティ・ベースド・ツーリズムの可能性           |   |
| P165 山田浩久(山形大):Post-COVID19に向けて観光政策の転換を迫られる地方県の実情—山形県を事例にして              |   |
| P166 池田千恵子(大阪成蹊大):COVID-19における観光需要の大幅な減少と宿泊施設への影響—石川県金沢市を事例として           |   |
| P167 松岡 農(駒澤大・院):ダークツーリズムに関する日本語書籍にみる自然災害被災地の扱い                          |   |
| P168 内田忠賢(奈良女子大):地元学・地域学の系譜—「都市民俗生活誌」・「なら学」の成果から                         |   |
| P169 伊藤千尋(福岡大):高校地理教科書における「人種」の記述に関する一考察—差別・偏見を生まない地理教育に向けて              |   |
| P170 吉田裕幸(鷗友学園女子中・高)ほか:地理・生物・園芸の教科横断的な学習の試み                              |   |